

第52期報告書

平成21年3月1日～平成22年2月28日

株主のみなさまへ

M
O
R
E
S
C
O
S
C
O

株式会社 MORESCO

水と油と高分子のスペシャリストとして社会に貢献する

小さくとも世界にきらりと光を放つ MORESCOグループ



取締役社長
赤田 民生

取締役会長
中野 正徳

ごあいさつ

平成22年5月28日の株主総会後の取締役会において、グループ経営という視点から、中野正徳は代表取締役会長に、株式会社 MORESCO のトップとして赤田民生は代表取締役社長に就任し経営をリードしてまいることとなりました。

株主のみなさまには、引き続き暖かいご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年5月

株主のみなさまへ

MORESCOグループのさらなる飛躍を目指して

株主のみなさまにはますますのご高配を賜り深く御礼申し上げます。

ここに第52期報告書を平成21年9月1日よりの新社名株式会社 MORESCO の名においてお届けするにあたり、新たな気持ちで感謝を込めてご挨拶申し上げます。

事業環境について

当事業年度の経営環境を振り返りますと、前年度のリーマンショックからの立ち直りが、はかばかしくなかった中間期までの厳しい状況から、後半には中国経済回復等の影響により輸出を足がかりに国内景気も徐々に持ち直してまいりましたが、期を通してみれば極めて低調な経済活動を余儀なくされたといえます。特に、個人所得の回復の遅れから消費が伸び悩み、企業の設備投資についてはいささかの動意もうかがえませんでした。

事業概況について

こうした経営環境下における、当社グループの第52期業績ではありますが、連結売上高は126.7億円(前年度比7%減)、連結経常利益は5.7億円(前年度比43%増)の減収増益決算となりました。増益を確保できた要因は、原材料価格の低下に加え全社一丸となって取り組んだ経費節減の効果といえます。製品別には、自動車産業向け潤滑油の未曾有の落ち込みを、高温用グリースのベース油やリチウムイオン電池膜向け流動パラフィン、大人用紙おむつ向け接着剤の好調がカバーする格好となりました。

事業基盤を着実に強化

このように、当期は必ずしも株主のみなさまのご期待にお応えするだけの業績を上げ得たとはいえませんが、長期的な視点から企業基盤を強化するいくつかの思い切った手を打つことが出来ました。まずひとつは、

中国に販売子会社無錫松村貿易有限公司を設立いたしました。製造子会社である無錫徳松科技有限公司とともに力をあわせ、急成長しつつある中国市場をしっかりと手中にしていきたいと思っております。次に、株式会社花野の国内外油剤部門を譲り受け、当社はダイカストに関するすべての油剤で日本のトップメーカーとなりました。これを機に、製品開発にも更に力を注いで、自動車部品業界にしっかりと貢献してまいり所存であります。また、環境にやさしい冷熱媒体油の製造業務への進出を決め、丸善石油化学株式会社に肩代わりして、新年度より製造を開始いたしました。新製品開発においては、これまで最も注力してきたハードディスク等の情報機器分野に加えて、新たにエネルギーデバイス関連の次世代製品の開発にも取り組み始めました。

このように、株式会社 MORESCO は時代を先取りする新製品の開発に積極的に取り組み、真のグローバル企業として飛躍すべく、日々精進を続けております。

平成22年5月

取締役会長 **中野正徳**



MORESCOは、自動車、鉄鋼、情報機器、化粧品、衛生材などの産業に向けた、優れた素材や高機能な製品を創出し、人びとの豊かな暮らしに貢献しています。

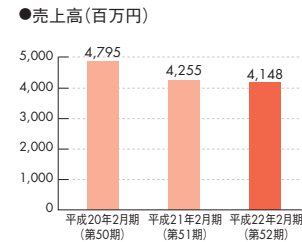
特殊潤滑油部門

自動車や鉄鋼をはじめ、半導体、デジタル家電製品などを生産する工場の安全や生産性向上、環境改善に貢献する高機能な特殊潤滑油を提供しています。

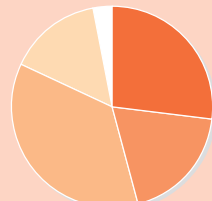
- 難燃性作動液
アルミ自動車部品を生産するダイカストマシン、製鉄、プレスなどの油圧装置に使用され、工場設備を火災から守ります。
- 高真空ポンプ油
創業製品である高真空ポンプ油は、半導体やシリコンウエハ、蒸着、熱処理、包装などの真空装置に使用され、生産性向上に貢献しています。
- 切削油
アルミ自動車部品などを加工する工作機械に使用され、廃液の排出削減につながるロングライフ製品を開発し、環境改善に貢献しています。
- ダイカスト用潤滑剤
アルミ自動車部品やマグネシウム部品を铸造するダイカストマシンで使用される金型離型剤・潤滑剤は、生産性向上と環境改善に貢献しています。



●自動車エンジン



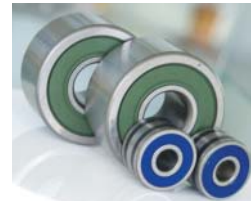
- 売上比率
- 難燃性作動液 27%
 - 切削油 19%
 - ダイカスト用潤滑剤 36%
 - 高真空ポンプ油 15%
 - その他 3%



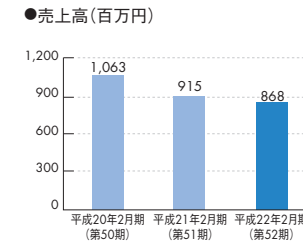
合成潤滑油部門

当社独自の合成技術で開発された合成油は、高温環境下やナノ領域において優れた潤滑性を発揮し、顧客製品の信頼性向上に貢献しています。

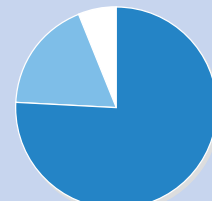
- 高温用潤滑油
高温環境下で使用する自動車電装部品の軸受けグリスの基油、OA機器などのモーター軸受けや製パンオープン、乾燥炉駆動部の潤滑油として過酷な環境下で使用されています。
- ハードディスク表面潤滑剤
ハードディスク装置の磁気ディスクと磁気ヘッドの隙間を潤滑する特殊な潤滑剤です。ディスクに記録された情報をナノレベルの薄膜で保護し、ハードディスクの信頼性向上に貢献しています。



●自動車用ベアリング



- 売上比率
- 高温用潤滑油 76%
 - ハードディスク表面潤滑剤 18%
 - 耐放射線潤滑油 6%
 - その他 0%



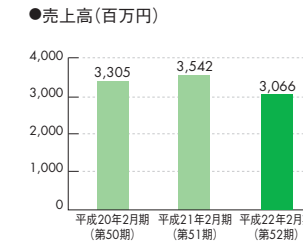
素材部門

「流動パラフィン」は、人びとの暮らしの中で安全・衛生・環境などに貢献し、「石油スルホネート」は、工業用の界面活性剤として使用されています。

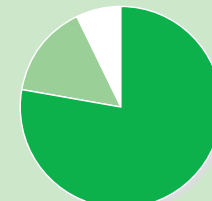
- 流動パラフィン
主に化粧品・トイレタリー製品の原料、発泡スチロール・食品容器などの樹脂添加剤、リチウムイオン電池膜の生産に使用される安全性が極めて高い、人にやさしいオイルです。
- 石油スルホネート
流動パラフィンから連産される石油スルホネートは、金属加工油やエンジンオイルの添加剤として使用され、界面活性剤、さび止めなどの特殊な機能を提供しています。



●リチウムイオン電池



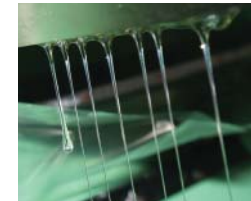
- 売上比率
- 流動パラフィン 78%
 - 石油スルホネート 15%
 - その他 7%



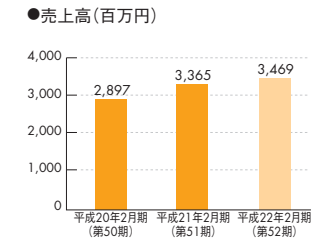
ホットメルト接着剤部門

環境や人の健康に影響を及ぼすVOC(揮発性有機物質)などを含まない接着剤として、安全性が求められる様々な分野で使用されています。

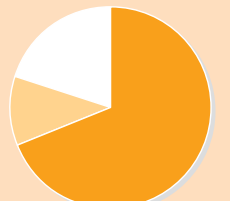
- ホットメルト接着剤
大人用紙おむつをはじめ、ペット用シートなどの衛生材製品の組み立て接着に使用される、無溶剤で人にやさしい接着剤です。また、環境にも影響を及ぼさない安全性から、内装用建材、自動車内装材、グラスウール等の断熱材、エアコンフィルター、各種ラベル、封筒の口糊など幅広い用途で使用されています。



●ホットメルト接着剤



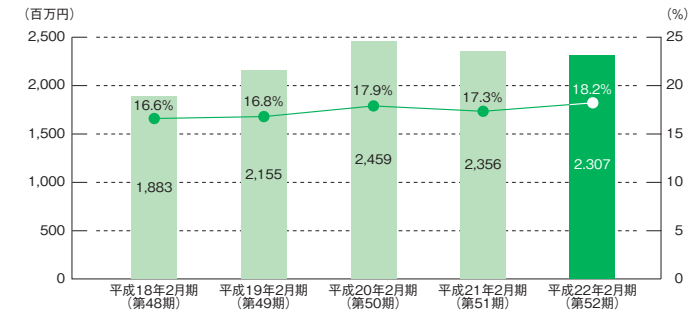
- 売上比率
- 衛生材用途 69%
 - 粘着材用途 11%
 - その他 20%



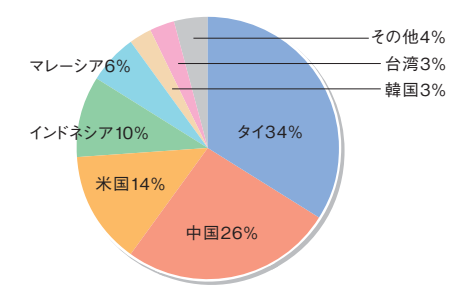
世界に貢献する真のグローバル企業を目指して

自動車産業のグローバル化が急速に進む中、世界中で燃費に優れた車が求められています。日本の自動車メーカーは、こうした需要に応じた海外生産を加速していくことが予想されます。自動車産業に多くの製品を供給する当社は、ますます拡大する海外需要に応えるべく、タイおよび中国の生産・販売拠点、さらには米国の現地法人を加え、グローバルな市場拡大に取り組んでいます。MORESCOグループは世界中のお客様との対話を大切にしながら、地球環境にやさしい製品を提供し、世界に貢献する真のグローバル企業を目指しています。

海外売上高・売上比率(百万円・%)



国別海外売上比率(2009年度)



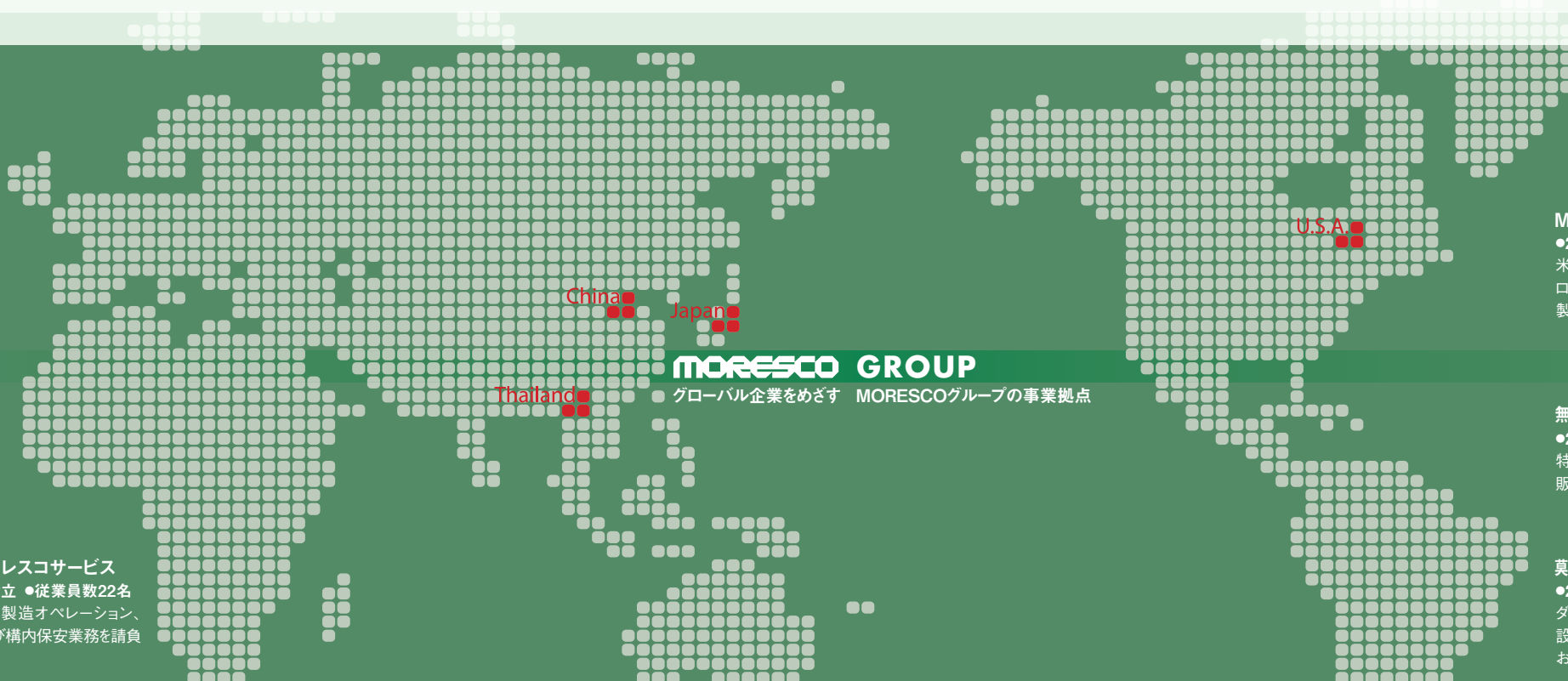
株式会社 マツケン
 ●1973年3月設立 ●従業員数9名
 各種環境関連(水処理装置、薬剤)・洗淨関連製品を販売しております。

国内



株式会社 モレスコテクノ
 ●1992年3月設立 ●従業員数13名
 潤滑油分析試験を中心に、環境関連の各種分析および潤滑油メンテナンス機器を製造販売しております。

株式会社 モレスコサービス
 ●1994年3月設立 ●従業員数22名
 当社各工場の製造オペレーション、構内物流および構内保安業務を請負っております。



MORESCO GROUP
 グローバル企業をめざす MORESCOグループの事業拠点



MORESCO (Thailand) Co., Ltd.
 ●1995年6月設立 ●従業員数47名
 当社の国際化戦略の礎として、タイはもちろん、ベトナム、インドなどへの市場拡大を図っています。

海外



無錫德松科技有限公司
 ●2001年3月設立 ●従業員数74名
 経済成長著しい中国市場において、特殊潤滑油、ホットメルト接着剤を製造しております。

MORESCO USA Inc.
 ●2006年5月設立 ●従業員数2名
 米国ミシガン州アンナーバー市(デトロイト近郊)に設立。特殊潤滑油を製造販売しております。

無錫松村貿易有限公司
 ●2009年5月設立 ●従業員数19名
 特殊潤滑油、接着剤の輸出入および販売をしております。

莫萊斯柯花野任鑄塗料(上海)有限公司
 ●2010年2月設立 ●従業員数26名
 ダイカスト用離型剤、潤滑剤とその周辺設備の製造、販売および輸出入をしております。

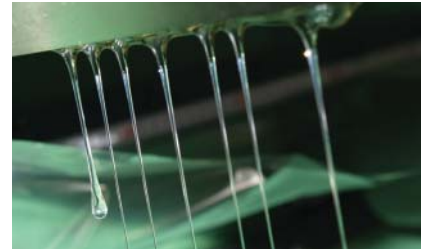
新製品開発について

MORESCOは従来からの「環境関連分野」と「情報関連分野」に加え、新たに「エネルギーデバイス分野」に重点をおき、世界に通用するナンバーワン製品の開発に取り組んでいます。「環境分野」は環境に優しく、生産性向上に役立つ潤滑剤や接着剤、生産現場の環境を改善する装置・システムを、「情報関連分野」では

情報機器の高性能化に重要な役割を果たす合成潤滑油やクーラント等の電子材料を、「エネルギーデバイス分野」ではリチウムイオン電池膜の製造工程で使用される流動パラフィンに加え、各種デバイス用封止材を開発しています。

環境関連分野

自動車関連部品の製造工程で重要な役割を担う水系潤滑剤では、省資源、省エネルギーの実現を目指し、ロングライフで消費電力低減が可能な難燃性作動液や少量の塗布で優れた離型性や潤滑性を発揮するダイカスト用潤滑剤などを開発し、国内および北米、アジアへの展開を図っております。環境に優しく、生産性向上に貢献するホットメルト接着剤(有機溶剤を含まない)では、反応型をはじめとする高機能接着剤の開発に取り組み、自動車向けなどへの新たな展開をスタートしました。また、水浄化関連装置は汚染物質の分解や殺菌などの優れた特性を活かし、航空機や自動車産業分野等の水浄化ニーズに応えるべく市場展開を行っております。



●ホットメルト接着剤

情報関連分野

パソコンからデジタル家電等への使用が拡大するハードディスクドライブ関係分野では、1テラビットを超える高記録密度の実現に向け、高度の潤滑システムを支える新しいコンセプトの表面潤滑剤の開発を進めております。

また、表面潤滑剤に加えてハードディスク基板の研磨用クーラントや、ハードディスクドライブの回転部分で使用されるFDB(動圧流体軸受)用の潤滑剤など、ハードディスクドライブにおいて重要な役割を担う潤滑剤を総合的に開発しております。



●ハードディスク表面潤滑剤

エネルギーデバイス分野

有機EL、太陽電池、リチウムイオン電池等に代表されるエネルギーデバイスの成長は目覚しく、その構成材料には一層の長寿命化や低コスト化が望まれています。当社はホットメルト接着剤で培った高分子材料の変性技術や配合技術をベースに、各種デバイス用封止材等の研究開発を開始し、新エネルギー分野でのあらたな貢献を目指して開発を行っております。



●太陽電池

MORESCO中期経営計画

この度、2010年度から2012年度までの3年間を対象としたMORESCOグループの中期経営計画を策定しましたので、その概要についてお知らせいたします。

【中期経営ビジョン】

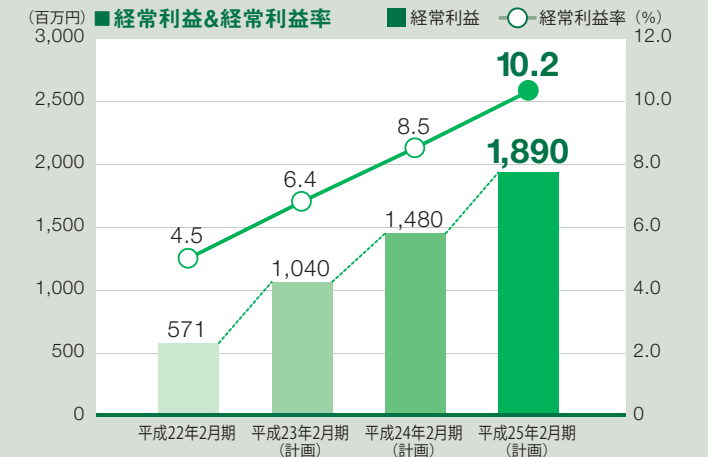
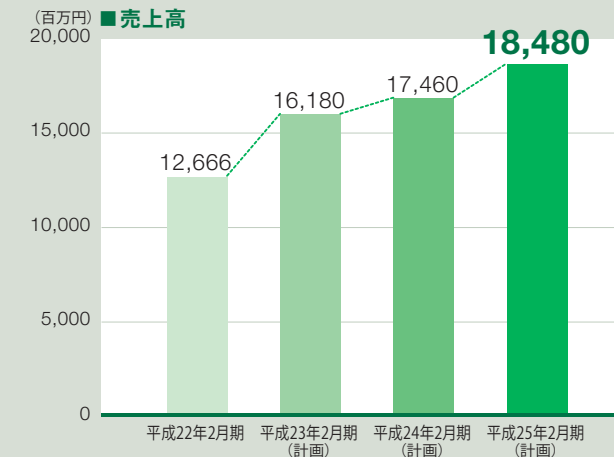
小さくとも
世界にきらりと光を放つ
MORESCOグループ

ー水と油と高分子のスペシャリストとして社会に貢献するー

【中期経営方針】

- 1.時代の潮流を見据え、事業展開をスピードアップする
- 2.成長分野において世界に通用するオンリーワン製品を開発する
- 3.得意領域での強みを生かしグローバルに事業展開する
- 4.生産プロセスの継続的な革新によりコスト競争力を強化する
- 5.グループ内外企業と連携し、ビジネスチャンスを広げる
- 6.多様な人材が織り成す活力ある組織を目指す
- 7.コンプライアンス・リスク管理を充実し、ステークホルダーの信頼を高める

【中期経営目標】



業績概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、急激な景気の悪化から持ち直しの動きが見られたものの、設備投資や個人消費の伸び悩みにより、本格的な景気回復には至りませんでした。

このような経営環境の中、当社グループの国内売上高は、3月に底打ちし4月から回復基調にあり、その後も自動車向けを中心に、まずは順調な回復を示しました。さらに原材料調達面では、原料価格が前年度に比較して低水準で推移し、かつ安定的な調達が可能でした。

また海外売上高(海外子会社の会計期間は2009年1月1日~2009年12月31日)は、第1四半期に世界経済の急速な冷え込みの影響をまともに受けましたが、その後需要先での在庫投資の回復や中国ユーザーの生産の拡大等により比較的順調な回復となりました。

当社グループ各社は、これらの状況に対応し、合理化投資の推進に加え徹底した経費削減に努めました。その結果、当連結会計年度の売上高は12,666百万円(前期比7.3%減)、経常利益571百万円(前期比42.7%増)、当期純利益323百万円(前期比74.8%増)となりました。

化学品事業

■ 特殊潤滑油部門

特殊潤滑油部門は、自動車産業、電子機器産業等で需要が緩やかに回復したことから、売上高は増加基調に転じ、下期には前年度を大幅に上回るまでに回復しました。また海外売上高は、中国、インドネシアでは比較的順調な回復となりました。

尚、(株)花野より譲渡を受けたダイカスト用離型剤等の事業については、順調に移管を完了し売上に貢献いたしました。

(売上高4,148百万円、前期比2.5%減)

■ 合成潤滑油部門

高温用合成潤滑油は、グリース基油の売上が世界各国の自動車生産の持ち直しにより急速に回復しており、通期では前期比1.3%減の前年度並の売上高となりました。また、ハードディスク表面潤滑剤は、ハードディスクドライブの生産が回復に向かっているものの、ディスクメーカーでの潤滑剤の在庫調整による上期の極端な売上減を取り返すまでには至らず、前期比25.3%減の売上高となりました。

(売上高868百万円、前期比5.1%減)

■ 素材部門

流動パラフィン、リチウムイオン電池のセパレータ生産向けおよびポリスチレン向け等が順調に回復に向いましたが、売上高は前年度を下回る結果となりました。

石油スルホネートは、関連する自動車、鉄鋼産業の生産増にともない回復の兆しがみられましたが、輸出については低調に推移いたしました。(売上高3,066百万円、前期比13.4%減)

■ ホットメルト接着剤部門

主力である大人用紙おむつなどの衛生材向けが前年度に引き続き堅調に推移し、前年を上回る実績を上げることが出来ました。また新規分野拡販の重点としております粘着剤および自動車内装材用途も好調に推移しました。

(売上高3,469百万円、前期比3.1%増)

■ 関連会社およびその他部門

(株)マツケン の廃水処理関連の売上高は、ユーザー各社の設備投資抑制により厳しい環境が続いており、(株)モレスコテクノの分析試験サービスも自動車関連業界からの受託試験の減少を主因に、売上高は前年度を下回りました。

(売上高1,052百万円、前期比30.8%減)

賃貸ビル事業

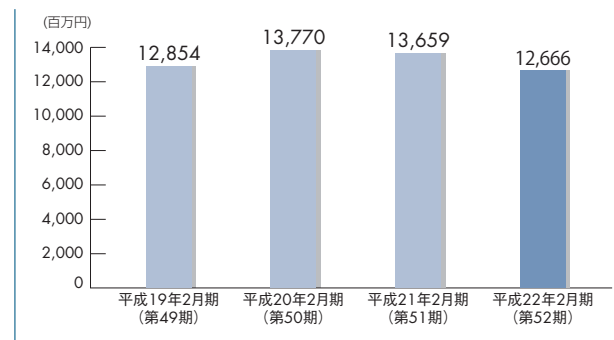
事務所用テナントビル「モレスコ本町ビル」全体を、不動産業者に一棟貸し(サブリース)する形態で運営いたしており、安定した売上を計上しました。

(売上高62百万円、前期比増減なし)

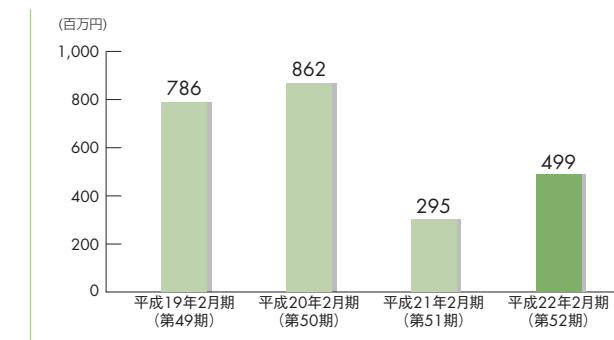
	第49期 (平成19年2月期)	第50期 (平成20年2月期)	第51期 (平成21年2月期)	第52期 (平成22年2月期)
売上高	12,854	13,770	13,659	12,666
営業利益	786	862	295	499
経常利益	813	925	400	571
当期純利益	486	547	185	323

(単位:百万円)

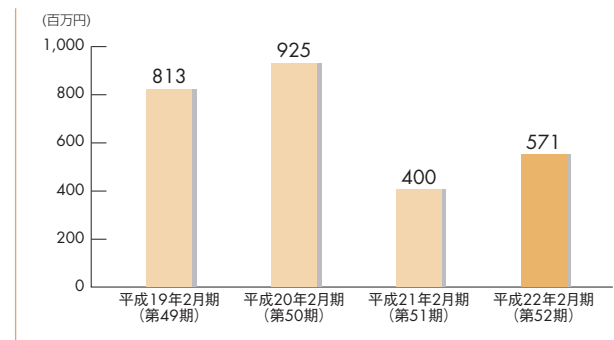
売上高



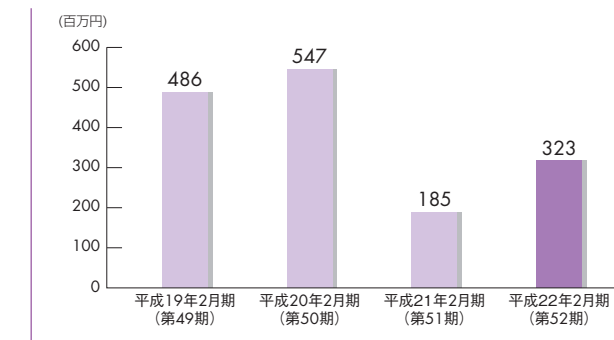
営業利益



経常利益



当期純利益



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年2月28日現在	平成21年2月28日現在
資 産 の 部		
流動資産※1	6,287	4,868
現金及び預金	554	199
受取手形及び売掛金	3,591	2,652
たな卸資産	1,915	1,740
繰延税金資産	222	143
その他	46	159
貸倒引当金	△40	△25
固定資産※2	5,872	4,980
有形固定資産	4,059	3,972
無形固定資産	608	57
投資その他の資産	1,205	952
資産合計	12,159	9,848

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年2月28日現在	平成21年2月28日現在
負 債 の 部		
流動負債※3	5,175	3,315
支払手形及び買掛金	2,777	2,150
短期借入金	1,416	487
未払法人税等	85	16
賞与引当金	295	228
その他	603	434
固定負債※4	1,535	1,364
長期借入金	425	38
長期未払金	289	424
退職給付引当金	775	853
その他	46	49
負債合計	6,710	4,679
純 資 産 の 部		
株主資本	5,326	5,158
資本金	1,310	1,310
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	3,106	2,937
自己株式	△187	△187
評価・換算差額等	△55	△84
その他有価証券評価差額金	△2	0
為替換算調整勘定	△54	△84
少数株主持分	177	95
純資産合計※5	5,449	5,170
負債純資産合計	12,159	9,848

連結株主資本等変動計算書(自 平成21年3月1日 至 平成22年2月28日) (単位:百万円)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成21年2月28日 残高	1,310	1,098	2,937	△187	5,158	0	△84	△84	95	5,170
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△154		△154					△154
当期純利益			323		323					323
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額合計(純額)						△2	30	28	82	110
連結会計年度中の変動額合計	-	-	169	△0	169	△2	30	28	82	279
平成22年2月28日 残高	1,310	1,098	3,106	△187	5,326	△2	△54	△55	177	5,449

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結損益計算書※6 (単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(自平成21年3月1日 至平成22年2月28日)	(自平成20年3月1日 至平成21年2月28日)
売上高	12,666	13,659
売上原価	8,717	9,937
売上総利益	3,949	3,723
販売費及び一般管理費	3,450	3,428
営業利益	499	295
営業外収益	113	189
営業外費用	42	83
経常利益	571	400
特別利益	6	1
特別損失	23	87
税金等調整前当期純利益	555	314
法人税、住民税及び事業税	119	70
法人税等調整額	96	27
少数株主利益	17	32
当期純利益	323	185
1株当たり純利益	41円84銭	23円51銭

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書※7 (単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	(自平成21年3月1日 至平成22年2月28日)	(自平成20年3月1日 至平成21年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	792	310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,595	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,151	52
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△16
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	355	△106
現金及び現金同等物の期首残高	149	247
新規連結に伴う現金及び現金同等物の期首残高の増加額	-	8
現金及び現金同等物の期末残高	504	149

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

Point

※1(Point 1 流動資産)

受取手形及び売掛金が、前期末に比べると需要が大幅に回復したことにより、939百万円増加しました。

※2(Point 2 固定資産)

無形固定資産および投資その他の資産が、株式会社花野の油剤部門譲り受けによるのれんの取得等により、合わせて804百万円増加しました。

※3(Point 3 流動負債)

支払手形及び買掛金が、受取手形及び売掛金と同じく、需要の大幅な回復に伴い627百万円増加しました。また、短期借入金、運転資金として、また、一部はのれんの取得等により928百万円増加しました。

※4(Point 4 固定負債)

退職一時金制度から確定拠出年金制度への一部移行による資産移管により、長期未払金が135百万円減少し、退職給付引当金が79百万円減少しました。長期借入金は、のれんの取得等により388百万円増加しました。

※5(Point 5 純資産合計)

利益剰余金が169百万円増加し、少数株主持分が82百万円増加しました。

※6(Point 6 損益計算書)

前期第4四半期における極端な需要の低迷が、当期に入ってから第1四半期までは継続し、その後徐々に回復に向かいましたが、通年では、売上高は前期比7.3%の減収となりました。一方、売上原価におきましては、原材料価格が前期に比べて低水準で推移したこと等により、売上総利益は、同6.1%の増益となりました。販売費及び一般管理費は、人員増の影響を経費削減によって吸収したこと等では前期並みに止まり、営業利益は同69.5%の増益となりました。営業外収益におきましては、持分法投資損益が同15.5%の減益となりましたが、経常利益は同42.7%の増益を確保することができました。当期純利益は、同74.8%の増益となりました。

※7(Point 7 キャッシュ・フロー計算書)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ482百万円増加しました。主には、税金等調整前当期純利益が241百万円増加し、減価償却費により105百万円増加したこと等によりです。投資活動により使用した資金の主な内訳は、有形固定資産の取得とのれんの取得によるものです。財務活動により得られた資金の主な内訳は、長期および短期借入金の純増額によるものです。

個別貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成22年2月28日現在	平成21年2月28日現在
資産の部		
流動資産	5,178	4,354
現金及び預金	155	108
受取手形及び売掛金	3,131	2,415
たな卸資産	1,576	1,535
その他	315	297
固定資産	5,820	4,691
有形固定資産	3,821	3,745
無形固定資産	605	52
投資その他の資産	1,394	894
資産合計	10,999	9,045
負債の部		
流動負債	4,890	3,404
支払手形及び買掛金	2,403	1,919
短期借入金	1,250	390
1年以内返済予定長期借入金	166	97
その他	1,071	998
固定負債	1,471	1,194
長期借入金	425	38
その他	1,046	1,156
負債合計	6,362	4,598
純資産の部		
株主資本	4,639	4,446
資本金	1,310	1,310
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	2,418	2,225
自己株式	△187	△187
評価・換算差額等	△2	0
純資産合計	4,637	4,447
負債純資産合計	10,999	9,045

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

個別損益計算書 (単位:百万円)

科目	当期	前期
	(自平成21年3月1日 至平成22年2月28日)	(自平成20年3月1日 至平成21年2月28日)
売上高	11,224	11,786
売上原価	8,006	8,974
売上総利益	3,219	2,812
販売費及び一般管理費	2,872	2,666
営業利益	346	146
営業外収益	123	100
営業外費用	51	83
経常利益	418	162
特別利益	118	—
特別損失	22	83
税引前当期純利益	514	79
法人税、住民税及び事業税	67	19
法人税等調整額	100	18
当期純利益	347	42

1株当たり純利益 44円93銭 5円35銭
※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

会社の概況(平成22年2月28日現在)

商号 株式会社 MORESCO
設立 1958年10月27日
資本金 1,310,003,200円
従業員数 262名

■本社および事業所

本社・研究センター 神戸市中央区港島南町5丁目5-3
電話078-303-9010(代表)

支店 東京支店/大阪支店
営業所 小山営業所/名古屋営業所/九州営業所
工場 千葉工場/赤穂工場

■役員(平成22年5月28日現在)

取締役会長 中野正徳	取締役 作田真一
取締役社長 赤田民生	取締役 高梨雅廣
常務取締役 谷川友彦	取締役 米田徳夫
常務取締役 小西邦彦	常勤監査役 雷野 武
常務取締役 竹内 隆	監査役 小沢史比古
取締役 菊池習作	監査役 田村英信
取締役 山地 一	

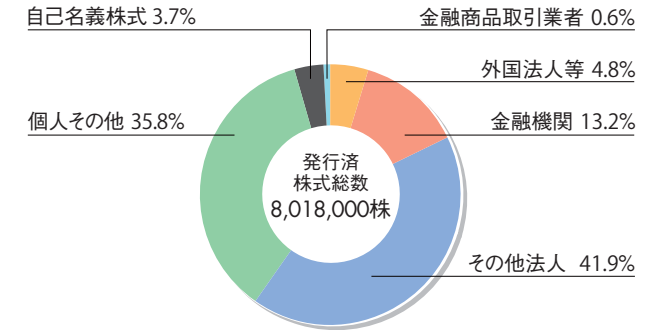
■グループ会社

連結子会社	主な事業内容
株式会社マツケン	廃水処理装置・廃水処理剤の販売
株式会社モレスコテクノ	分析試験業務および潤滑油管理、関連機器の製造、販売
株式会社モレスコサービス	構内物流および構内保安業務の請負
MORESCO(Thailand)Co., Ltd.	潤滑油の製造、販売
MORESCO USA Inc.	潤滑油の製造、販売
無錫松村貿易有限公司	潤滑剤、接着剤の輸出入、販売および同製品材料の輸出入
莫萊斯柯花野匠鑄塗料(上海)有限公司	ダイカスト用離型剤、潤滑剤とその周辺設備の製造、販売および輸出入
持分法適用関連会社	主な事業内容
無錫德松科技有限公司	接着剤および潤滑油の製造、販売

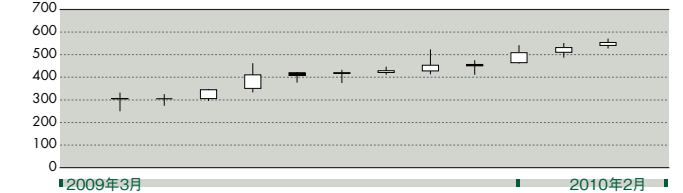
株式の状況(平成22年2月28日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株
発行済株式総数 8,018,000株
株主数 2,067名

■株式所有者別分布状況



■株価の推移



■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
松村石油株式会社	1,067.0	13.8
コスモ石油ルブリカンズ株式会社	503.0	6.5
日本曹達株式会社	365.0	4.7
双日株式会社	327.0	4.2
三菱商事株式会社	327.0	4.2
MORESCO従業員持株会	325.6	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	305.2	4.0
株式会社みずほコーポレート銀行	250.0	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	250.0	3.2
日本興亜損害保険株式会社	221.4	2.9

持株比率は自己株式数(300,240株)を控除して計算しております。



MORESCO

株主メモ

■事業年度

3月1日～翌年2月末日

■期末配当金受領株主確定日

2月末日

■中間配当金受領株主確定日(中間配当を行う場合)

8月31日

■定時株主総会

毎年5月

■株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

■同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL:0120-094-777(通話料無料)

■上場証券取引所

東京証券取引所

■公告の方法

電子公告により行う

公告記載URL <http://www.moresco.co.jp/>

(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

◎株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。

◎特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。

◎未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。